

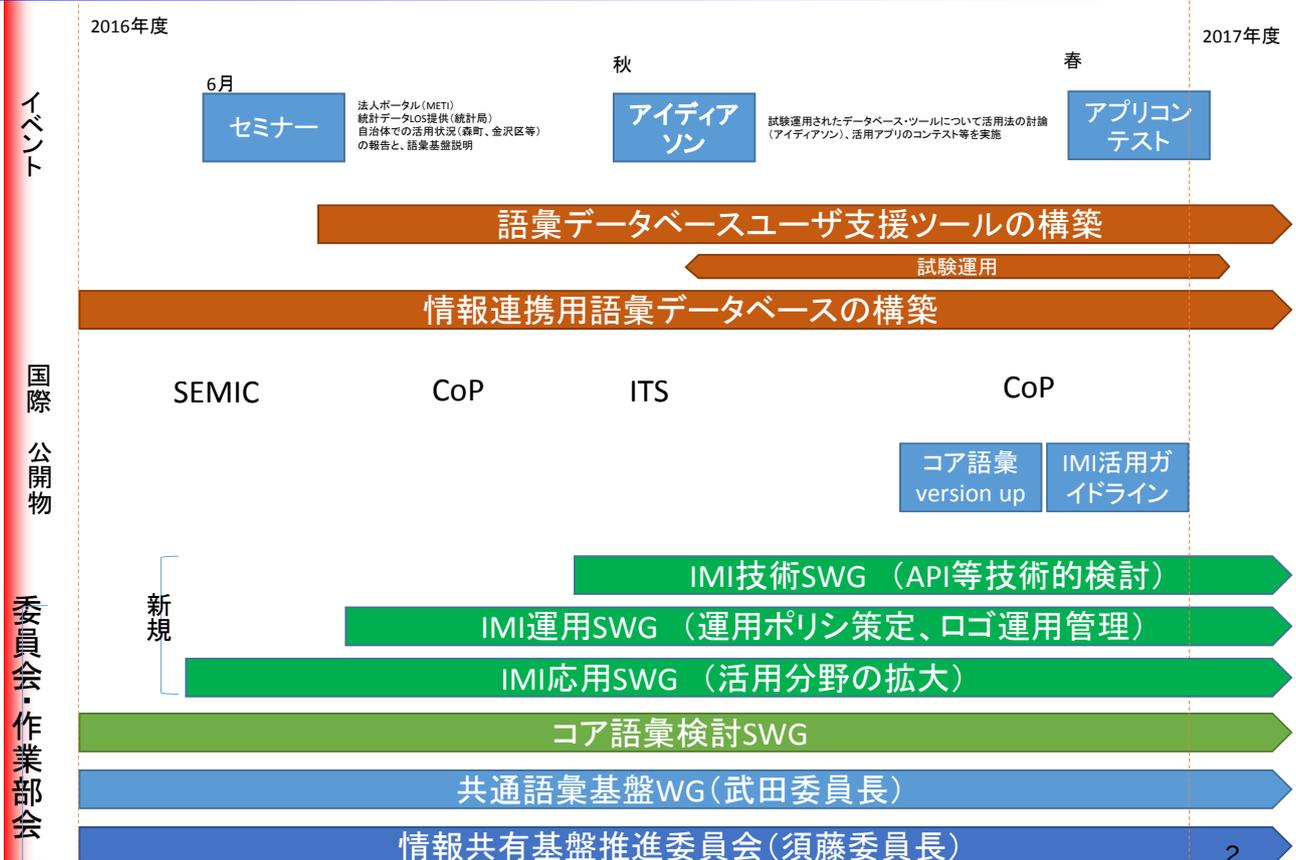
# 共通語彙基盤(IMI)事業方針

## 2016年度

情報処理推進機構

1

## 共通語彙基盤2016年度案

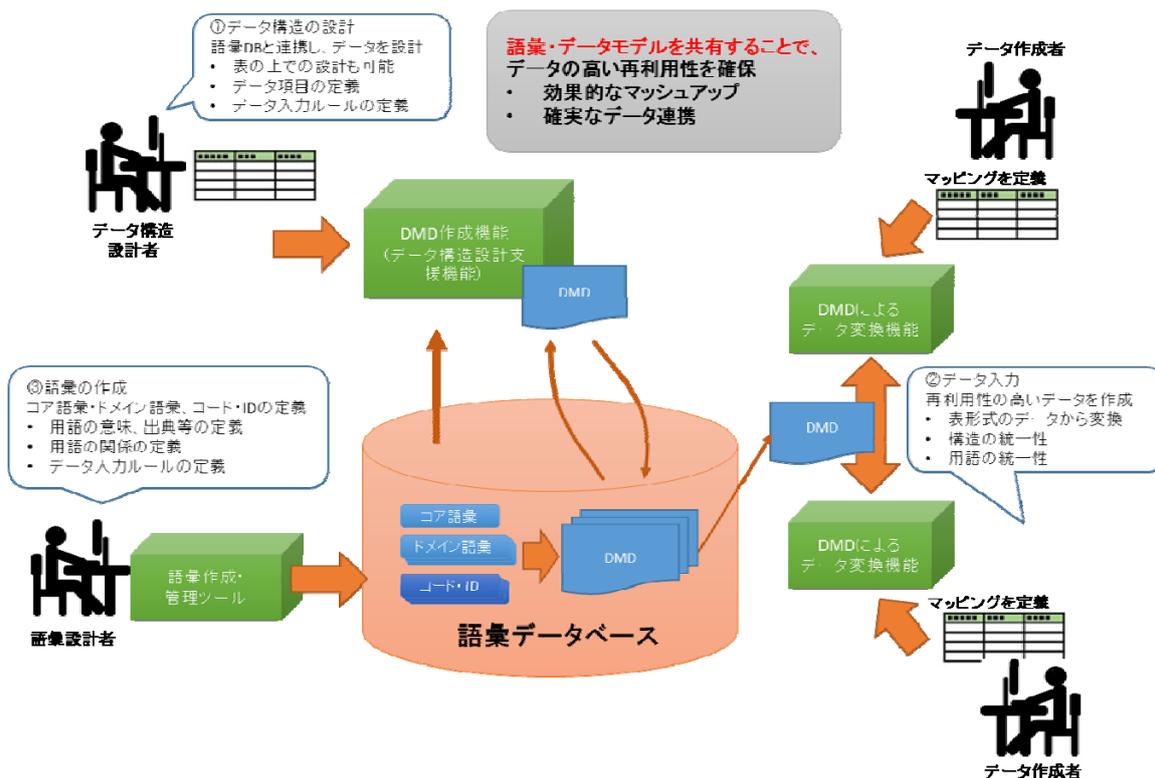



2

# 情報連携用基本語彙 データベースの構築

3

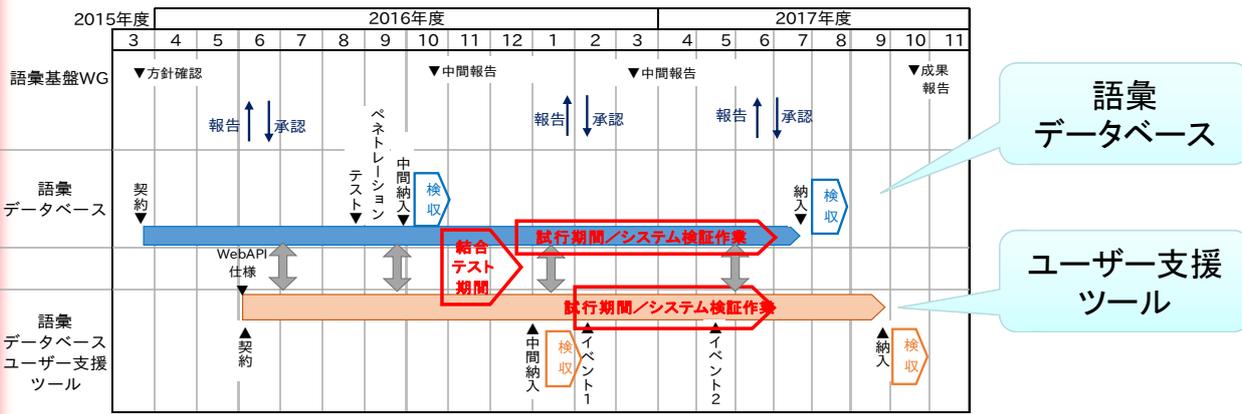
## 共通語彙基盤の全体イメージ



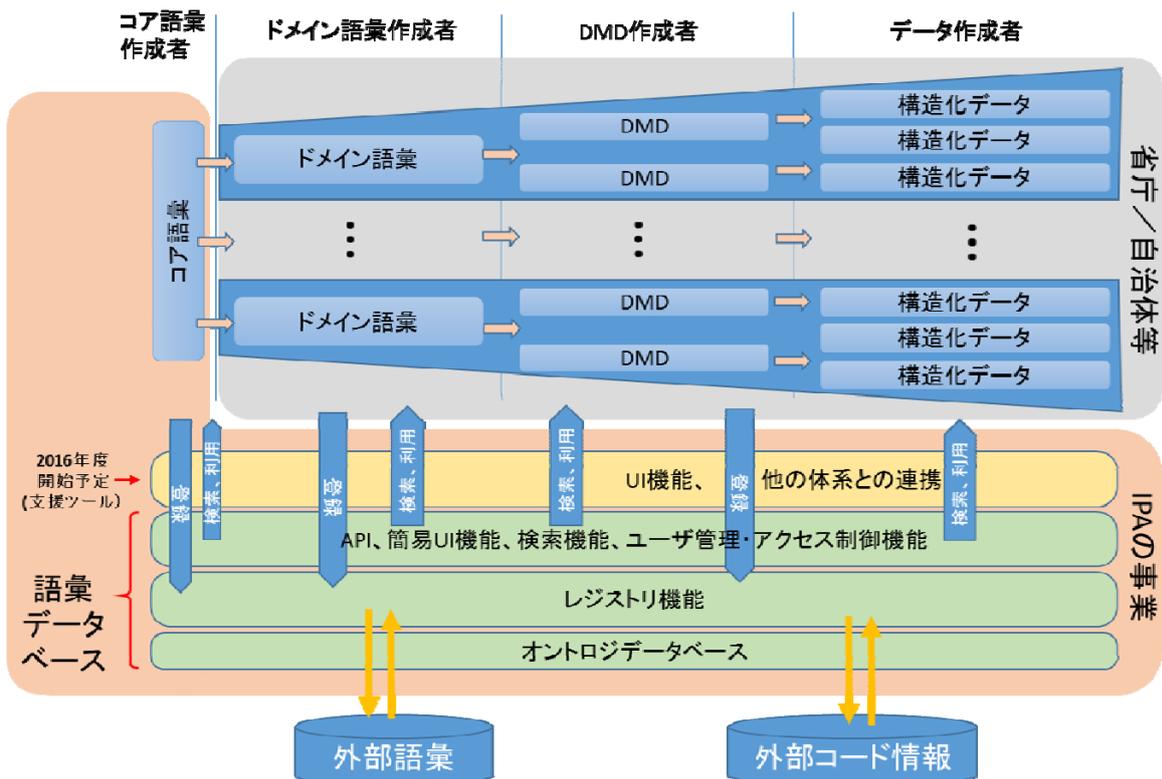
4

# 共通語彙基盤構築事業スケジュール IPA

共通語彙基盤  
全体スケジュール



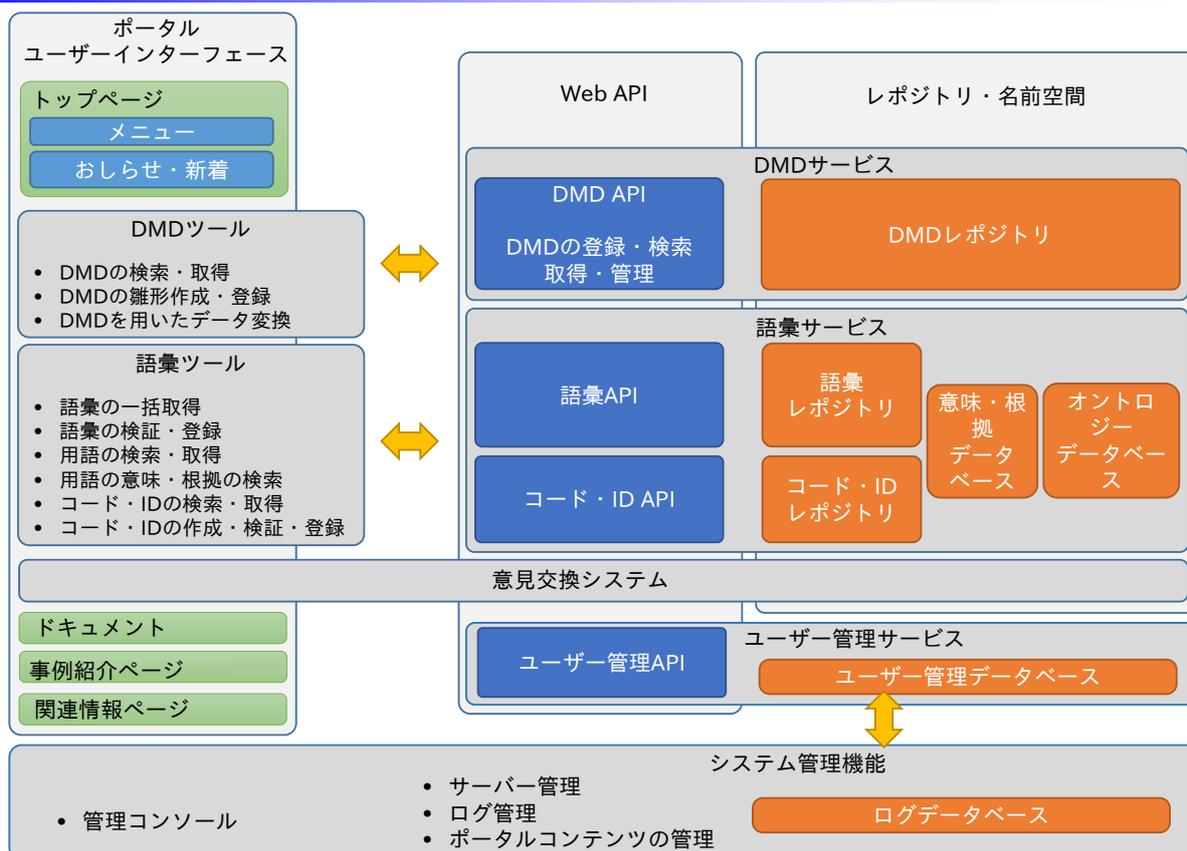
# 語彙DBと支援ツールの全体イメージ IPA



項目	内容
システム開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータル構築(メニュー、お知らせ、事例紹介)</li> <li>名前空間の整備(語彙、コード・ID)</li> <li>データベースの構築(意味/根拠、オントロジー)</li> <li>レポジトリの構築(DMD、語彙、コード・ID)</li> <li>管理機能(ユーザー管理、ログ採取)</li> </ul>
コンテンツ整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開中のIEP(情報交換パッケージ)に必要な情報を加え、DMDとして整備する</li> <li>コア語彙に関する以下のデータを、自治体や政府機関関係者などの利用者および利用シーンを想定した上で収集整理する。情報の範囲や内容の妥当性の確認等のため、委員会を設置し意見を求める。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 意味・根拠データ、オントロジーデータ</li> <li>✓ コード、コードリスト、ID型、ID体系</li> </ul> </li> </ul>
ドメイン語彙運用検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定の業務領域で用いられるドメイン語彙の運用方法について、有識者による委員会を設置し検討を行う。</li> </ul>
システム検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮運用を行い、別途実施される「支援ツール」と接続し試用運用を行う。</li> <li>仮運用中、上記ツール関係者、コア語彙関係者及び受注者自身などによりシステムの検証を行い、将来の活用促進に向けた提言を報告書としてまとめる。</li> </ul>

7

## システム開発（機能ブロック図）



8

構造化したデータ項目のスキーマや項目の値の制限、項目の内容を説明したドキュメントなど、データ項目を共有するために必要な情報をひとまとめにしたパッケージ。機械向けの情報と人間向けの情報の双方を持つ。

## DMDヘッダー XML版スキーマ例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" targetNamespace="http://www.w3.org/XML/1998/namespace" schemaLocation="http://www.w3.org/XML/1998/namespace" >
  <xsd:import namespace="http://www.w3.org/XML/1998/namespace" schemaLocation="http://www.w3.org/XML/1998/namespace" />
  <xsd:element name="DMD">
    <xsd:complexType base="xsd:string">
      <xsd:sequence>
        <xsd:element ref="dmd:URI" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Name" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"/>
        <xsd:element ref="dmd:CreationDate" minOccurs="1" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd>LastModificationDate" minOccurs="1" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Description" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"/>
        <xsd:element ref="dmd:Publisher" minOccurs="1" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:License" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Previous" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Latest" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Component" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
</xsd:schema>
```

## ドキュメント例

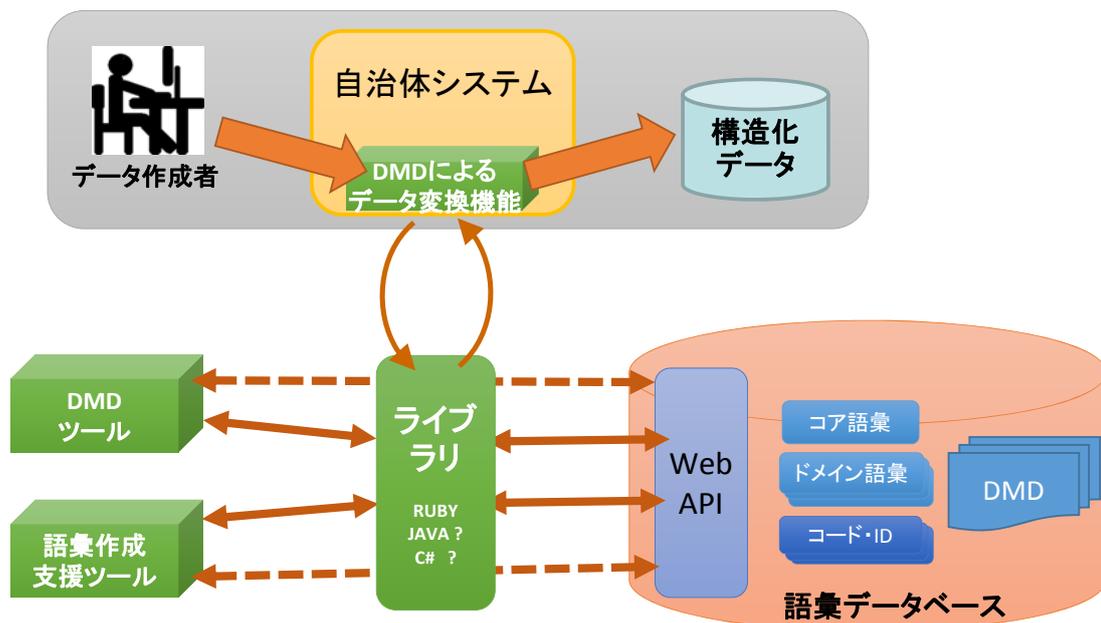
### 2. データ項目

データ項目と記述イメージは、以下の通りである。灰色項目はその組み合わせることで、アプリケーションで自動生成できる項目であるデータを使用しないで、直接記入することも可能である。

データ項目名	説明	備考
正式名称	「株式会社〇〇」のような組織分類と組織名を組み合わせた正式名称または登記名称。	組織分類名か
組織分類位置	株式会社等の場合には、組織名の前後のどちらに付与するかを記載。	
組織分類	株式会社、有限会社、合名会社、合資会社、合同会社等の組織分類を記載。	
組織名	組織分類を除いた組織名を記載。農業協同組合のように、組織名と組織分類が一体不可分の場合には一体として記載。	
略称アルファベット	略称のアルファベットがある場合には、半角英数字で記載。	

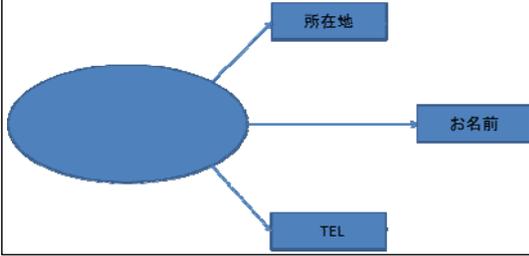
# 語彙データベース ユーザ支援ツールの開発

項目	内容
ツール開発 (DMDツール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆DMD検索ツール                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• ID、名前、概要、作成者、キーワード等による絞り込み検索</li> <li>• 一覧表示、グラフ構造ビュー、表形式ビュー</li> <li>• データ変換</li> </ul> </li> <li>◆DMDエディタ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 構造化データの設計支援</li> <li>• スキーマの生成、ドキュメントの自動生成</li> </ul> </li> <li>◆DMDビューワ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 構造化データをグラフ表示</li> </ul> </li> </ul>
ツール開発 (語彙作成支援ツール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コア語彙やドメイン語彙の作成者向けのツール</li> <li>• 概念の整理の支援機能</li> <li>• 概念の可視化(グラフ、表形式、集合)</li> <li>• 登録用テンプレート</li> </ul>
ライブラリ開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部ツールから共通語彙基盤DBを使いやすくするためのライブラリを整備。</li> </ul>
イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治体/省庁、利用事例紹介</li> <li>• IMIの認知度向上のためのイベント(検討中)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ DMDコンテスト</li> <li>✓ アプリコンテスト</li> </ul> </li> </ul>



## Step.1 CSVをインポート

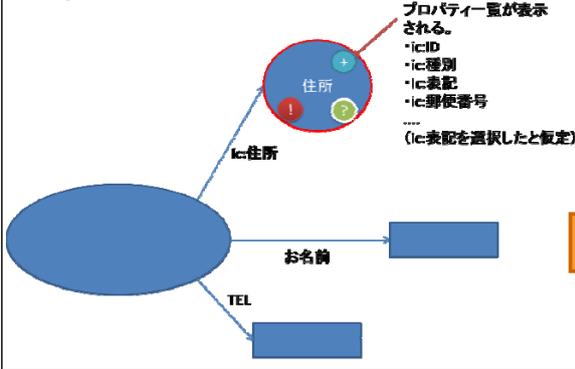
所在地	お名前	TEL
神奈川県横浜市	山田 太郎	123-4567-890
東京都千代田区	田中 花子	234-5678-901



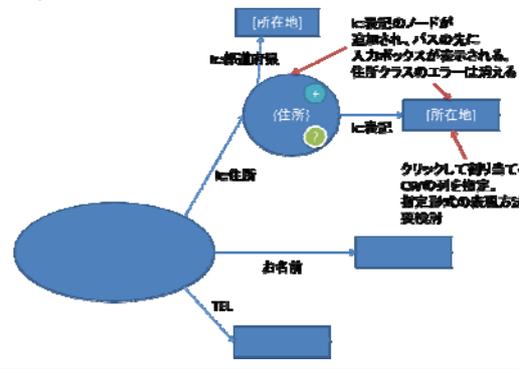
## Step.2 クラスを選択



## Step.3 プロパティを追加



## Step.4 プロパティにデータを入力



13

# DMD(Data Model Description)

構造化したデータ項目のスキーマや項目の値の制限、項目の内容を説明したドキュメントなど、データ項目を共有するために必要な情報をひとまとめにしたパッケージ。機械向けの情報と人間向けの情報の双方を持つ。

## ドキュメント例

### 2. データ項目

データ項目と記述イメージは、以下の通りである。灰色項目はその組み合わせることで、アプリケーションで自動生成できる項目であるデータを使用しないで、直接記入することも可能である。

データ項目名	説明	備考
正式名称	「株式会社〇〇」のような組織分類と組織名を組み合わせた正式名称または登記名称。	組織分類名か
組織分類位置	株式会社等の場合には、組織名の前後のどちらに付与するかを記載。	
組織分類	株式会社、有限会社、合名会社、合資会社、合同会社等の組織分類を記載。	
組織名	組織分類を除いた組織名を記載。農業協同組合のように、組織名と組織分類が一体不可分の場合には一体として記載。	
略称アルファベット	略称のアルファベットがある場合には、半角英数字で記載。	

## DMDヘッダー XML版スキーマ例

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" targetNamespace="http://www.w3.org/XML/1998/namespace" >
  <xsd:import namespace="http://www.w3.org/XML/1998/namespace" schemaLocation="http://www.w3.org/XML/1998/namespace.xsd"/>
  <xsd:element name="DMD">
    <xsd:complexType base="xsd:string">
      <xsd:sequence>
        <xsd:element ref="dmd:URI" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Name" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"/>
        <xsd:element ref="dmd:CreationDate" minOccurs="1" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd>LastModificationDate" minOccurs="1" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Description" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"/>
        <xsd:element ref="dmd:Publisher" minOccurs="1" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:License" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Previous" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Latest" minOccurs="0" maxOccurs="1"/>
        <xsd:element ref="dmd:Component" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
</xsd:schema>
```